

『生まれ育った地域で暮らすための準備(お金の練習編②)』

テーマ 生活

お金の意味をある程度理解したら、次は5のつくお金の練習ができます。

今の日本の消費税制度はレジを通過するまで正確な支払額が分からない仕組みになっています。

お金の意味を正しく意味を理解しながら支払いするよりも、パターンを暗記してしまう方が賢明です。5のお金も含めたぴったりの支払いパターンを丸暗記してしましましょう。



コインホーム



私達は、上の写真(左)のようなコインを仕訳して収納できるグッズ(コインホーム)を使用しています。お金がバラバラにならないので、障がいのある子ども達にも使いやすい便利な道具です。さらに、小銭で5のお金も含めた支払いパターンをひたすら暗記して、レジでの支払いスピードを上げる練習をしています。

レジを通過するまで正確な金額が分からないので、今はこの方法で対応しています。だいたいの目安として、皆さん1年くらい練習すれば、ぴったり払えるようになります。

ここまで出来れば、ある程度はお子さん1人でもお買物が出来るようになります。

この先にも「おつりの枚数を少なく払う方法」や、「手持ち金額で足りるかどうかを判断する方法」もあります。どこまでを目指すかは、お子さんの年齢やお子さんご自身のやる気に応じて進めて行くのが良いでしょう。

最終手段としては、お店の方に必要な額をお財布から受け取ってもらう方法もあります。お店との信頼関係を日ごろから作って置く事も大切です。

お子さんが、心豊かに楽しく過ごされます事を願っています。